掲載許可番号
d20220330-02

幼稚園の先生へ 68歳の門出

東温の岡市さん大学卒業

11日に開かれた松山東雲女子大の卒業式。はかま姿の卒業生の中に、ある女性の姿があった。東温市田窪の岡市初枝さん(68)。還暦を過ぎて一念発起し、2015年に人文学部心理子ども学科に入学。7年間のキャンパスライフを駆け抜けた。各種免許を取得し、4月から長年の夢だった幼稚園教諭となる。

卒業式で同級生らと記念写真に納まる岡市さん(下段左)

松山東雲女子大の卒業証書・学位記を手に笑顔を見せる岡市さん

若き日の夢 退職後に挑戦

「子どもについて学びたい」という思いを若い頃から抱いていた。高校卒業後、両親の意向で企業に就職したが結婚、子育てを経ても情熱が失われることはなかった。

家族の後押しを受け、61歳で同大の社会人入試に挑戦し見事合格。心理子ども学科で心理福祉を専攻した。学費には勤めた会社の退職金を充てた。

待ちに待った大学生活は年齢との闘い。知っているはずの漢字が出てこない、体育の長距離走では周回遅れと苦労の連続だった。しかし「頑張る姿だけでも見せないと」と50歳ほど年下の同級生に必死で食らいつく。ゼミでは積極的に発言し盛り上げ役を買って出た。

ゼミや課外活動 全力疾走

ほかの学生の評価は「いつも明るく声をかけてくれるし、刺激をもらった」。でも岡市さんからすれば「それはこっちのせりふよ」。ゼミを担当した影浦紀子准教授(47)は「岡市さんがいると、周囲の発言意欲や成果物のレベルが上がった。何より、いくつになっても学べる、チャレンジできるということを体現してくれた」とたたえた。

課外活動にも積極的に参加。聖歌隊に入りチャペルで歌い、同級生と身体障害者を介助するボランティアに精を出した。「家に帰るのが惜しい」と感じるほど楽しんだ学生活。「同年代の友人が『学生時代に戻りたい』と言っていた意味がやっと分かった」と感慨に浸る。

幼稚園教諭一種、保育士など複数の免許を取得し、4月から松山市で幼稚園教諭としてのキャリアをスタートさせる。「子どもたちや若い先生に学びながら、私にしかできない保育をしたい」。70歳を前にしても、挑戦に終わりはない。

(増田有梨)